o f f l i m i t s
presented by bakunyu fullmerson
adult only!

!それで捕獲したアバランチの女というはあれか。
見かけによらず馬鹿力なもんで黙らせるのに苦労しちまって・・・
off limits
By 黒龍眼

――それで、
こんなとこに ヤツらほうり込んで 一体何を？
あまりいい趣味じゃ ない事をしようと してるのは なんとなく ワカるんですが
余計な口を聞くな
本来ならば 我々と一部の上層部の 人間しか実験の立会いなど できんのだが・・・
今回は ルーファウス総帥の お望みという事もあり 特別にお前達タークスにも 同席する事を許可している だけだという事を 忘れるな
へいへい わかりましたよ

博士 そろそろ準備ができました
—うむ
では はじめるか
なあ・・・ 宝条よ
そろそろ教えてくれてもいいだろう 今から何を見せてくれるというのだ？
ルーファウス様
あなたのお父上・・・ プレジデント神羅様が亡くなられてどのくらいになりますかな？
・・・・・ 2ケ月になるのか
まことにいたましいことではありましたが
—そうです
総帥は我々の研究に非常に高い関心をお持ちで 多くの資金を投資して頂いておりました

私を含め科学部門の研究員は皆
そのご期待にお応えするべく
日々新しい技術を模索し実験に実験を
重ねてまいりました
―曽親父から
聞いた事がある
「究極の生物兵器」の
繁殖と制御および
その兵器利用に関して
だったか・・・
―左様で
そして我々は
数多くの生物兵器を
研究してまいりましたが
・・・・・
その中の1つにかねてから
総帥が特に興味深くしておられた物が
ありましてな・・・
総帥は特にあるサンプルに
非常に興味を
持たれました・・・・
あ・・・

ホウ…
ヒッ!?
原種名称「モルボル」―その中でも特に強靭なグレート種を改良して完成させた…
コードネーム「ADOMIS」―我々はそう呼んでいます…

ーフム・・・
噂には聞いていたが
これほど巨大で醜悪
だったとはな・・・
ズ・・・
ズルッ
い・・・いやっ・・・
ヒッ
ズルッ
ニュルッ
この改良種はは通常の
それとは違い
人間に産卵・受精をし
寄生させることによって
より確実且つ強靭な固体の
繁殖を可能にしたものでして

えっ…!?
いやあああああっ!!
何これえっ!!
そして只今より
今回捕獲した
アバランチの女を使って
その生殖実験をしようと
いうわけです
なるほど
そういう事か
やぁ
あ

ズルズルッ
ズルッ
ズゴッ
ズブッ
あっ
何だ？あの鼻の穴に入っている管は？
ズルズルッ
ズブォッ
ブゴッ
あれは彼女の脳の中に直接入り込んで彼女の視床下部の性欲中枢に刺激を与えているのです
んっ・・・
ふうっ・・・
そうすることで彼女の性欲を直接高める事によって生殖行動をしやすくするのですよ
ガク
ガク
ズリュ
ズリュ
脳に対する直接刺激が相手ではいかようにも抗う事はできません

にゅぽっ
ズボッ…
刺激を与えるために注入された物質は時間をかけて彼女の体を侵食していくのです
じきに彼女は快楽の虜になるでしょう
ひあうっ…
おねがいっ…やめてえっ…
するするっ
にゅるん
ずるっ

なっ…
何これっ…
ドロッ
ぷりゅんっ
にゅるっ
ぬるっ
きもち
わるいよおっ…
はわっ
やぁあっ
くりゅっ
あああっ
んうっ

ヒューッ スゲエなっ
怪物には 勿体無いくらい 美味しそうな オッパイだ
ぞ、と
なんなら 今からあの怪物と 仲良く3Pでも してきたら？
そりゃあ名案だ ぞ、と
けどよう 俺あー
愛やロマンの かけらも無いやつとの セックスなんて 御免だね
ぞ、と
フン
そうは言っても お前達とて あの怪物と さして変わらんよ
愛なんて物は それを認めない 奴等の言い訳だ
その証拠に 見たまえ－

ヌリ…
ズルウッ
「ADOMIS」は彼女を単なる生殖の対象でしか見ていないように見えるが－
ズウッ
ヌリュ
ヌリュ
あれはあれで「彼」なりの愛情表現をしているのだよ
ケッ
インテリってのはどうも気にいらねえ奴ばかりだぞ、と
はっ・・・
ああっ・・・

きゃっ!?
やっ・・・
いっ・・・
あああっ・・・・
ぶちゅっ
おっ・・・
おっぱいの・・・中にっ
なっ・・・なにかあっ・・・
はっ・・・はいって
くるううう!!!
ズルュッ

ひっ
いやあっ
ズブ
ズブッ
ピクピクッ
ズボッ
あっ・・・
はんっ
ズリュ
あっ
はぁ
つぷ
オイオイ
何だいありゃあ
乳首の中に
細い管が・・・
乳首の中の組織を
触媒させてああして
乳首を拡張しているのだ
まぁ見ていろ

ずちゅ
いっ…
ズ…
あぁっ…
ズプ
だっ…
だめぇっ!!!
ぶちゅ
そんなあああっ!!
ちくびにいれないでえええっ!!!
ブポォッ

うああっ
おっ…
おっぱいがあああっ
こわれちゃうよおおっ…
あああっ
ずちゅ
じゅぶ
ぬりゅ

―なかなかにしぶとい女ですな…
はあっ
ひあっ
あぁっ
「ADOMIS」も少し腹を立てている様子だというのに

!
スル　スルッ
ちゅ
ずちゅ
ずぷっ
ズブッ

ひあああっ…
ずぐ
ぶちゅ
ぢゅっ
ずりゅっ
あっ…あっ…
ヌル。。
はあっ…
うあっ
ぶちゅっ
ズルッ
イボイボがこすれてっ…あああああっ！

やっ…
そこは…
だめっ…
直接なんて…
あヒッ!?
ズリュ
じゅるるる
はああああんっ…
か…かんじちゃうっ
ああああああっ!!

少しずつ神経が冒されてきているようだな
はあっ
所詮人間は快楽からは逃れられないということです
ひっ
…？
ユラアアアッ
いっ…
ヌッ…
ニュル
ああああっ…
ニュルッ
いやあっ！

ひぃいいっ!!
お尻の穴に
入ってくるううっ!!
ズプウッ
やっこさんも
エゲツないねえ
よりによって尻の穴から
先にするなんて
ぞ、と
フフフフフ……
ただ単に尻の穴から
攻めているわけでは
ないのだよ
はひっ
ああっ・・・

ブリュ
すっ…吸わないでえっ!!
!
吸わないでって…まさかウンコでも吸い上げてるのか？
―その通り
もともとモルボルという生物は雑食性の高い生物でねえ
生物界において「消費者」であると同時にバクテリアのように「分解者」としての役割も持っているのだ
まぁ今の彼女にしてみればそんなモルボルの都合よりも尻の穴から攻められていることに快楽を覚え始めている事の方が重要なのだろうがな

はぁっ
おっ…おしりっ…おしりがぁっ
きもち…いいっ…
あはっ…
おーおー
ついに自分で
ケツの穴ひろげ始めた
ぞと
上ほど気に入ったのか
あるいは神経の侵食の所為か
タガが外れたようだな
ヒッ…
あぁっ
あっ！
はっ
にゅぐぐっ

あっ…
あひっ…
ブポッ
ああっ
吸われてる…
吸われてるゥ…
ヌ…
…？
アァ…アァ…ア!!
まっ…
待って…
そんなの…
入れたら…
ヌ
だっ…
ギュプ

ボ
ゴォ
あおあああっ!!
ふっ・・・
太すぎるううっ!!!
ひっ・・・
いやあっ・・・
モゴモゴ
し・・・
子宮の奥まで
はいってきてるよおっ
ゴリュ

ひっ…
あっ…
ズリュッ
みちっ

あっ
みち
うあっ
みちっ
グチュ
ズチュ
それにしても
随分と荒っぽいが
あれでも彼女は
感じているのか？
「ＡＤＯＭ−Ｓ」は彼女の事を
最大限に悪しんで
おりますよ
ご心配
ありません
そろそろ脳のほうも
神経が冒されて
もはや何に犯されて
いるのかすらも
わからなくなって
きていることでしょう
ですから
今の彼女はただひたすらに
身の快楽を貪っている筈です

すでに彼女は「彼」の子孫を産む為の道具でしかないのです
ビクッ
!!
おっ・・・おなかのなかに・・・なっ・・・なにかあってでてるううっ!!!
ゴポッ
ゴポッ
ゴポッ

ひぐぁあああっああ
？
どうした？
彼女の様子が変だが・・・
「産卵」が
始まったのです
ゴポ
ゴポッ
ぶじゅううう
ずぷっ
生殖行動の第一段階として
まず彼女の子宮内に
「産管」と呼ばれる生殖器を
挿入して大量の卵を
母体の子宮内に産みつけます
ボタ
ボタ
ボタッ
ボタ

ああっ
うあっ
うっ・・・
はあっ・・・
おあっ・・・
おなかがあっ・・・
くるしいよおお・・・
ずぼっ

おーおー まるで妊婦だな 腹があんなに膨らんじまって・・・
そ、と
モルボルの一回の産卵数は通常は数千個ー その殆どが幼体のうちにいろいろな要因によって淘汰されてしまうのだが
人間に産卵する事によって孵化の段階での外的要因による固体の減少を最小限に抑える事ができる
そしてなにより「受精」をより確実且つ安全に行う事が出来るのだ
ルーファウス様 ご覧下さい
あれがモルボルの「操筆」・・・ 人間で言うところのペニスにあたります
ズルゥゥゥゥゥ

ヌロオオオッ
いやっ
い…
ズルウウウウッ
なんと醜い…しかも大きいときている
しかしあんなぶっといモノ入るのか？
ぞ、と
－心配なぞ要らんよ
見たまえアレを－
にち
ゃぁっ

ヌロォォォォッ
はあっ・・・
はあっ・・・
それえっ・・・ここに・・・ここに入れてえっ・・・
彼女の頭の中はあれによってもたらされる快楽の事しか頭に無いようだ
もはや彼女はみずからあの雄蕊を受け入れようとしている
あの顔はまさしくそう物語っているようだ

ひっ…
ひろがって…
すっ…
すごおおおおいっ!!
おっきすぎるううっ!!!

すげえなぁ
あんなに太いものを
あっさりと咥えこみやがった
ぞ、と
ごっ…
ごりごりしてえっ…
すごいのおおっ…
あっ
ああっ
ググプッ
ズリュ
はうっ
ゴリッ
ぐにゅ

ずりゅ
ぶちゅっ
はっ…
ああっ
ずっ
おぶっ
ひあっ
ぬりゅっ
ぐちゅ
うあっ
おあっ
はあっ
ひはっ
いひ…

ヒッ・・・
あっ・・・あああっ・・・
何これっ・・・
あついのがあああっ!!!
ボゴン
ゴポ
ドプッ
ゴプッ
あっ・・・
あっ・・・

ボゴン
ボゴン
おっ・・・
おなかがあぁっ
はれつしちゃいそうっ・・・
こっ・・・これ以上はああっ!!!
ゴビュ
ゴプッ

はかっ・・・
ねぷう・・・
ひはっ・・・
ゴピュ
はぁ
どろっ
はぁ
ぽっ
はぁ
あーあ
マンコ開きっぱなしで
精液がダダ漏れだ
ぞ、と
宝条ー
なかなか面白い
見世物だったよ
それにしても・・・
喜んで頂けて
光栄です
あの捕獲した
アバランチの女も
よく持ちこたえてくれました

このまま順調に受精卵が
成長すれば1週間後に
卵は全て孵化して
より強靭な固体が
彼女から産まれること
でしょう
あっ
はあ――っ
肉体的にこそ持ちこたえましたが
もはやあの女は視床下部の
性欲中枢をコントロールできない
ようになっている筈・・・
あとは兵士の慰み物にするなり
処刑するなり
総帥の思うが侭として頂いて
構いませんが・・・
さて・・・どういたしましょうか・・・
end.

presented
by
bakunyu fullmerson